令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

1 団 体 名 : 一般社団法人ぷらむ佐賀

2 事業実施期間: 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日

3 事業の背景(※事業計画書から転記)

#### ■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

高次脳機能障害は、脳損傷による障害で見た目からはわからない障害であり、まだ一般的に十分 浸透している障害ではなく、当事者や家族は相談場所も少なく、困難を抱えている現状にある。 そういった当事者同士が繋がり、医療関係者を含め、認知・理解促進を行なっていくことで、佐 賀県が高次脳機能障害の方々も住みやすい地域となっていくことを目指している。

#### 4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

コロナ禍も明け、徐々に集まることのできる環境が整ってきたため、交流会を通して、高次脳機能障害の当事者及びその家族の悩みや不安を解消し、より良く生きられる環境作りができた。また、グループホーム運営をしている場所への視察は叶わなかったが、勉強会やオンラインでの運営相談などを実施することで、将来的に高次脳機能障害に特化したグループホームを設立し、生活基盤の一つである「住まうこと」という部分を支える仕組みづくりを図ることができた。

②佐賀から広がった社会像(該当する活動のみ)

5 寄附金活用事業実績: (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄 附 金 活 用 額 : (別記3)

# (別記1) 寄附金活用事業実績

# ○寄附金を活用して行った事業(GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位:円]	うち寄附金 活用額 [単位:円]
家族会交流事業	①高次脳機能障害の当事者及びその家族の不安や悩みの解消 ②高次脳機能障害当事者・家族 ③高次脳機能障害の当事者及びその家族の不安や悩みの解消・情報提供をするための交流会を開催した	① 4 回 ②佐賀県内	153, 600	15, 360
高次脳機能障害者 向け勉強会事業	①高次脳機能障害についての対応方法などを知ることでの理解の促進 ②高次脳機能障害当事者・家族 ③高次脳機能障害について理解し、当 事者・家族の問題の軽減と対応方法の 取得を目的とする勉強会を開催した	① 5 回 ②佐賀県内	2, 300	2, 300
グループホーム設 立に向けた視察や 勉強会の参加	①グループホーム設立に向けた理解促進 ②高次脳機能障害支援に関心のある人 ③高次脳機能障害向けグループホーム の設立に向け、他県等の先進事例の視察や勉強会へ参加した	① 2 回 ②オンライン	0	0
上記を達成するた めの事業全般	①高次脳機能障害の当事者及び家族がより住みやすい環境としていく ③上記の事業を実施するために必要な管理や運営、資金調達についての企画 広報等を実施した。	①随時 ②佐賀県内	390, 050	390, 050
グループホーム設 立に向けた積み立 て	①高次脳機能障害者向けのグループ ホームの設立 ②高次脳機能障害の当事者 ③高次脳機能障害向けグループホーム の設立に向けた資金の積み立てをおこ なう。	随時 佐賀市内	2,000,000	124, 028
計			2, 545, 950	531, 738

### (別記2) 次年度繰越活用見込み

# ○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
計		0	0	

### (別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (= A + B)		776, 471	
	本年度	776, 471	
(内訳)		本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	716, 000
		前年度控除額(県事務経費)還付分	60, 471
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B		0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		776, 471	
	事業に活用した寄附金額 … a		531, 738
	ふるさ	と納税の募集に要した費用の額 … b	244, 733
		返礼品等の調達に係る費用	147, 687
		返礼品等の送付に係る費用	48, 746
		広報に係る費用	
		事務に係る費用	48, 300

■直近の収支報告書掲載箇所 (ホームページURL等)

https://plum-saga.or.jp/